

### 新型コロナウイルスワクチン接種

#### 他市に比べ接種状況に遅れ

#### 予約再開し優先接種も進める

**問** 本市の新型コロナウイルスワクチン接種が周辺自治体より遅れている理由と優先接種について聞く。

**答** 本市の1回目のワクチン接種状況は、9月6日時点で接種人数12万9652人(うち高齢者7万2137人)、接種率42・6%である。接種が遅れている理由

日から20歳以上、30日から12・19歳の予約を開始し、11月頃には希望者への接種が完了する予定だ。

は、5月31日に高齢者の接種を開始したが、国からのワクチン供給量が激減したことを受け、7月2日以降の新規予約の受付を停止するなど、スケジュールを変更したためだ。その後、ワクチンの入荷状況を踏まえ、8月23日から本格的に接種を再開している。9月15

今後もワクチンの入荷状況等を踏まえ、希望する人が少しでも早く接種できる体制を検討していく。

また、優先接種として、集団接種の空き枠を活用し、保育士や幼稚園教諭への優先的な接種を進めており、さらに市内中学校の養護教諭や特別支援学校の担任を対象に集団接種を実施した。



11月には希望者への接種を完了予定

### 学校でのタブレット端末 さまざまな活用方法を検討 学級閉鎖時の持ち帰りも準備

**問** 教育におけるタブレット端末の活用状況について聞く。

**答** 本市は、児童生徒に一人一台のタブレット配備と、校内の高速無線LANの整備を今年3月までに完了させ、4月から活用を開始した。まずはタブレットに慣れることから



児童生徒一人一人に応じた学びを

始め、現在はカメラ機能を使った植物の撮影や体育の授業に活用している。また、授業での発表の際には、全員の考えや意見をタブレット画面に表示することで、発表が苦手な子も含め、全員が活躍できる状況ができていく。このほか、登校できない児童生徒に対しては、授業支援ソフトを活用して課題に取り組んだり、教員とコミュニケーションを取るなどの

個別対応も行っている。今後は、創意工夫された新たな活用方法を教員が共有していくことで、教育現場での積極的な活用をさらに進めていく。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響による学級閉鎖などを想定し、家庭に持ち帰ったタブレットを活用できるように各学校で準備している。緊急時においても児童生徒と教員がつながり、学びを保障していけるように取り組んでいく。

### 国がデジタル庁設置

#### 行政の効率化やサービス向上に

#### 本市のDX推進方針は

**問** 9月に国のデジタル庁が設置され、行政の効率化やサービス向上につながるデジタル改革がスタートした。本市のデジタルトランスフォーメーション(以下DX)推進方針を聞く。

**答** 国の自治体DX推進計画に掲げられた重点事項であるシステムの標準化や申請書類・事

務手続きの共通化、行政手続きのオンライン化、マイナンバーカードの普及促進などを進めるため、本市の基本的な方針、スケジュールの具体化を進めている。ICTの活用等による市民サービスの向上を本市の行政運営の基本姿勢の一つとして掲げており、今後は、(仮称)あかしSDGs

### 流産・死産を経験した人に 寄り添った支援を 専門職員など体制必要

**問** 流産や死産を経験した人への支援体制について聞く。

**答** 近年、流産や死産を経験した人への支援の必要性が指摘され、今年5月には国から自治体において適切な支援を講じるよう通知があった。本市は、妊娠前から子育て期まで切れ目のない子育て支援を行う中、流産等を経験された人への身体的ケアだけでなく、心理的・

社会的ケアの必要性を認識し、深い悲しみに寄り添った支援が必要と考えている。子育て世代包括支援センターの保健師や助産師が窓口となり、妊娠届出時に全ての妊婦と面談し、支援が必要な人を把握するとともに、流産等の経験をした人の相談も受けている。電話や訪問等、相談しやすい環境で傾聴し、医療機関や保健所と連携して支援している。また、県の養育支援ネットワークを通じて、医療機関とも情報を共有している。今後は、相談窓口である子育て世代包括支援センターの周知とともに、庁内の連携を図り、体制の充実に努めたい。さらに、質の高い支援を目指し、専門職の育成や職員の資質向上に努めていく。



e-ひょうごで可能な行政手続きも

前期戦略計画において具体的な施策を位置付けていきたい。まずは、庁内のデジタル化に向けた体制整備として、公文書の電子化・電子決裁の導入による行政手続きのオンライン化に備えるため、来年度予算の検討を進めている。

DX推進によって市民の利便性を向上させ業務の効率化につなげていく。

### 千住議員に感謝状

千住啓介議員に兵庫県市議会議長会から感謝状が贈られ、9月7日の本会議で披露されました。これは同議員が議長・副議長を合わせて2年以上務め、地方自治振興に尽くした功績によるものです。

### 市議会ホームページをリニューアル

9月1日から利用者が使いやすい、分かりやすいホームページを目指して明石市議会のホームページをリニューアルしました。今後も市議会の情報をお伝えしていきますので、本市議会ホームページをご活用ください。



### 議員ふもやま話

食事は生活の基本であり、とらなければ生きてはいけません。私たちはこの飽食時代に直接、生き物の命をいただいていることを意識せずに食事をしているかもしれないが、肉、魚、野菜、どれも生き物の命であることには変わりありません。お米も成長すれば稲穂を付け、たくさんのお米が実る一粒として、子孫を作る可能性を秘めているまま食されます。私たちは多くの命に支えられているわけです。また、農業や漁業など多くの方々のおかげで食材が手に入り、そして家庭で料理をして初めて口に入ります。

来年の秋、全国豊かな海づくり大会兵庫大会を迎えるに当たり、改めて自然の恵みと生きとし生けるものに対して感謝の気持ちを忘れず、「いただきます」「ごちそうさまでした」の意味を考えてみましょう。